	祝 9 N J 8月2日(土)～6日(水)
---	---	--



素晴らしい一分間

浜松第14団団委員長 奥澤 達司
浜松南小地区委員長



5月の地区委員会で、リーダーがどのくらい「宗教ハンドブック」を持っているか実態調査をする事になり、6月の委員会でその結果報告がありました。

私は、その時ふと何年前か前カブ隊の隊集会でハイキングに行った時の一コマを思い出しました。

女性隊長は、プログラムの説明の最後に、自然を大切に、汚さないように、ゴミも拾ってきれいにしてお帰る事を付け加えて出発しました。

一汗かき、道中の宝さがして獲得したアメ玉をしゃぶり乍らの休憩に入った時の事です。

みんな、待ってましたとばかりポケットからアメ玉を出し、紙をむいて口にほうばり始めたのですが一人のスカウトが剥いだ紙をポイッと捨ててしまいました。「コラッ」と言う人の声を制して、隊長はそのスカウトのところへ歩み寄りました。

今、何をしたのか説明を聞き「それでは、今した事が良かったか、悪かったか神様に聞いてみようね。」と隊長に言われてスカウトも手を合わせて黙想し祈りました。

神（仏）の事や、祈る事に関心のある家庭に育ったスカウトではありませんでしたから、彼は初めて神の声を聞く機会に出合ったのではないかと思います。このスカウトは、神の声を聞く事が出来、自分の行為の良否をその声で決める事が出来たと考えるのは早計かも知れません。しかし、神とはどんな存在か、祈るとはどんなことかも、わずか一分間足らずの会話で子供心におぼろげながらも知らしめた素晴らしい教育の実践場を見た感じでした。

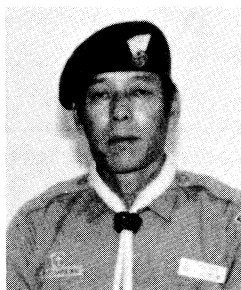
スカウト教育の大きな柱の一つである「宗教心を芽生えさせる」の具体的手本と思います。

こうしたリーダーの配慮の繰り返しによりスカウトは、その都度、その都度の体験を積み重ねて、複合的に神（仏）の姿を心の中に段々と具現化し、育み、更に真の信仰へと導かれて行くのではないのでしょうか。

明日のBS浜松地区を支える力に

浜松地区指導者養成委員長 小山 定雄
浜松第26団団委員長

東小地区委員会 木村 清二



三指 夏期キャンプに備えて、各団の皆様には、ご多忙なものと存じます。この度、地区養成委員長として野中氏のあとを受け継がせて頂く事になりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

野中前委員長は、伝統ある浜松地区でのご功績は大きく輝かしいものばかりで御座いました。優れた前任者の築かれた道を、これよりどこまで歩いて行かれるのか危ぐの念も抱くのでありますが、幸いなことに東小地区では、6団の松崎正孝さんと南小地区には鈴木賢俊さんのお二人が、小地区指導者養成委員長でいらっしゃいますので、ご協力を頂きながらすすんで参りたいとおもいます。

本年度の活動は、訓練チームの方々のお世話になりながら、既に開始しております。団委員研修会は5月25日に曳馬公民館で開催し、浜松地区11個団より22名の方が履修されました。6月には、野営法研修会が7日より8日迄、太田山野営場で、成人指導者を対象に開かれまして、参加者は6個団で8名御座いました。研修内容は「地図の読み方とコンパスの使用法」について16団のビーバー隊隊長で、オリエンテーリング技能インストラクターでもあります矢部さんから興味深く学習させて頂きました。野外科理は「ツイストパン作り」と「青竹で作るまぜごはん」。こちらの方も原隊で直ぐに役立つ内容とあって色々な方法を研究したりして、それは楽しそうな研修会でした。次に、第172期BS指導者講習会は、6月29日に南部公民館において、10個団22名の参加者が、無事に履修致しました。スタッフの方々が受講者の退屈防止に工夫をこらして頂き誠に有難う御座いました。開催地地元の18団さんには、多数の方のご奉仕をして頂きました。紙面をお借りして御礼を申し上げます。

次に、今後の活動計画については10月にロープワーク研修会、12月にトリック研修会、2月には歌研修会と指導者講習会が準備されております。訓練チームと指導者養成委員会では、一人でも多くの方のご参加を望んでいるものであります。最後になりますが、皆様のあたたかい御協力、御支援を心からお願い申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

弥 栄

このたび、小地区委員長と云う大変責任の重い役務を受けることになりました。果してこの責任を全う出来るかどうか自信はありませんが、各団の皆様の協力により、なんとか役務を全うしたいと思っております。今のところ、

小地区制の何がよくて何が不都合かはっきりしたことは、わかりませんが只言えることは、すべてが小人数の為、活発な発言があって何ごとにも比較的短時間でまとまると云うこと、そして、集まる会場が近いと云うこと、そして、各団のメンバーの人柄がよくわかっていて話し合えると云うことである。小地区制になってから2年目に入ったばかりで今のところ、只なんとなく過してしまっているが、これから、やらなくては行けない事は、東小地区としては東小地区としてのカラーを出すことである。そうなったら本当に素晴らしいと思う。各メンバーは、皆素晴らしい認識を持った人ばかりで必ず近い将来東のカラーも鮮明になって来るだろう、特に我が東のコミッショナーは、よくやってくれるので本当に助かります。何事にも笑顔で、忘れることのない人柄だけにすべてが丸く治まってしまう。本当に感謝をする次第です。これから先数多くの行事については、皆様の協力を頂きながら誠心誠意頑張って行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



9 N Jについて

テーマ「自然と創造」

一空のように広く、蔵王のようにたくましく—

近藤 孝明



待ちに待った第9回日本ジャンボリー(9 N J)は、第8回と同じ、宮城県白石市南蔵王山麓の原野で、8月2日(土)より6日(木)迄開かれます。蔵王の自然は、優しさのうちに厳しさを秘めて、スカウト達に自然の持つ偉大さを教え、心身を鍛え直し、創造の芽を育んでくれることでしょう。選ばれたスカウトは、この大自然の中で、野営生活を共にしてスカウト精神を学びつつ実践し、いろいろなプログラムに自発的に参加し、模倣に頼らない独創性を培うまたとないチャンスが与えられます。

ジャンボリーでは、参加スカウトひとりひとりが自分の意志で各行事や各種目にチャレンジし行動していきます。それがジャンボリー活動です。その基本が次の5つです。

(1) 名誉と信顔を高めるための活動

9 N Jは、参加スカウト全員が9 N Jを支える構成員です。自由な楽しい生活のなかに厳正な自律を確保することはジャンボリー活動の基盤です。

(2) スカウトの友情を増進するための活動

9 N Jは分散方式で運営されます。オーイと声をかけさえすれば全国及び海外のスカウトと交歓できます。

(3) 自然への理解を深めるための活動

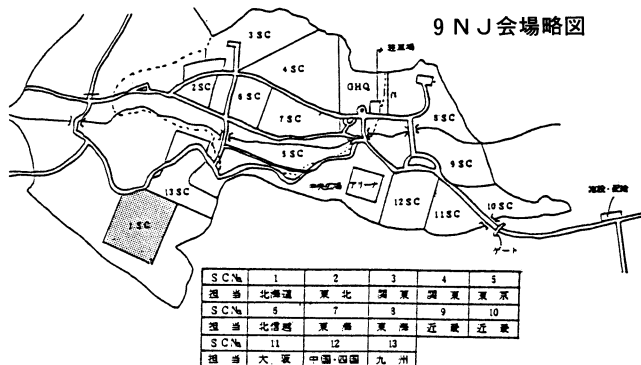
南蔵王は大自然の宝庫です。自然探究に、森林愛護に、自然のなかに飛び込みましょう。

(4) 冒険と開拓、最高の楽しさを体験するための活動

原隊では体験できない数々の冒険、奉仕作業を通じての開拓、楽しさが一杯のゲームや交歓は終生のよい思い出になるでしょう。

(5) 新しい世界、未知の世界へ出発するための活動

スカウトは、常にあらゆる可能性を求めて前進します。そこに無限の進歩があり、9 N Jがその前進のためのひとつのスタートとなることを期待します。



ジャンボリーの会場はアリーナを中心に全部で13のサブキャンプの会場に別れています。浜松地区の5隊全部が北海道連盟(担当県)の第1サブキャンプ場に配属されます。

ちなみに静岡県連盟(担当県)は第7サブキャンプ場です。

9 N J日程表

時刻	前 日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	翌 日
	8/1(金)	8/2(土)	8/3(日)	8/4(月)	8/5(火)	8/6(水)	8/7(木)
5:30	炊事係起床		当 番 起 床				
6:00	全 員 起床		全 員 起 床				
7:00	朝 食		点検 講評 朝礼				
8:30	国旗掲揚		中央掲場パレード				
9:00 ↓ 11:00	開 場 式 設 営	設 営	選択プロ グラム	選択プロ グラム	宗教儀礼	選択プロ グラム	徹 営 環境整備
12:00	昼 休	食 憩	交 歓 昼 食				
13:30 ↓ 16:30	設 営	設営完了	選択プロ グラム	J.大集会	選択プロ グラム	環境整備	環境整備
17:30 ↓ 18:00	夕 食 派遣団到着完了	開会式	友情のパーティー				
			国 旗 降 納				
19:00 ↓ 21:00			隊交歓営火	S C 行事 (交歓)	S C 行事 (交歓)	閉会式	
21:30 ↓ 22:00	班 長 会 議 消 灯						

※ 9 N Jの全体行事は、開会式・J大集会・閉会式とし、全員が正装で参加。

参加隊は浜松駅を7月31日午後7時29分発の貸切列車ブルートレインで出発し8月1日午前6時04分に白石駅着、朝食をすませたのち、各隊ごとにバスにて会場に出発し9時到着予定、第1サブキャンプ場にて午後より設営にかかります。8月2日の夜、開会式がおこ

バイオニア賞選択プログラム

なわれ、3日の朝より選択プログラムがはじまります。選択プログラムはA群の必修種目6種と選択プログラムB群からD群迄の各群のなかより一種目ずつ合わせて9種目を取得すれば、パイオニア賞のメダルを獲得することが出来ます。

No	項 目	種 目	認 定	場 所	参加単位	プ ロ グ ラ ム の 大 綱
1	必修課目	信 仰	隊長	会場全域	個 人	参加者は、更に信仰心を深める。また、宗教行事に参加する。
2		ディスカッション	隊長	隊サイト	班・隊	テーマを設定し、ディスカッションによって自主活動の展開を促進する。
3		奉 仕 活 動	隊長	会場全域	班・隊	自発的奉仕活動、課題による奉仕活動を実施し、スカウティングの意義を体得する。
4		交 歓 行 事	隊長	隊サイト	班・隊	ティーパーティ、食事、営火等の交歓により、相互理解を深める。
5		事前課題 班 旗 づ く り	隊長		班	各班は、事前に班旗を制作して参加する。各SCで、そのデザインのコンテストを実施する。
6		友 情 ゲ ー ム	SHQ	会場全域	個 人	文字入りのカードによる文字合わせにより、スカウト同士のふれあい、新しい友を発見する。
7	選 択 課 目	サブキャンプトレイル	SHQ	会場全域	班	5個のSCを訪問し、課題や催物に参加する。
8		森 林 愛 護	GHQ	会 場 外	班	営林署指導のもとで山に入り、実際に除草、樹木の管理を体験する。
9		オリエンテーリング	GHQ	会 場 外	班	指定されたOLコースにチャレンジ。
10		自 然 探 求	GHQ	会 場 外	班	ハイキングを通じて、南蔵王山麓の野鳥観察、樹木等の自然について研究する。
11		スカウトベース	GHQ	会 場 外	班	スカウトベースにより、指定区間を所定時間で歩く。
12	選 択 課 目	班 旗 た て	SHQ	SC広場	班	6本の校による班旗たてのタイムレースを行う。(閉会時に決勝戦を実施)
13		綱 引 き	GHQ	中央広場	班	綱引きの班対抗(閉会時に決勝戦を実施)
14		アドベンチャートレイル	GHQ	特設会場	班	一定コースにセットされた冒険ポイントにアタックする。
15		天 気 図 作 成	GHQ	中央広場	個 人	具体的な天気図の作成を体験する。
16		アマチュア無線	GHQ	中央広場	個 人	特設アマチュア無線局により、ラジオ・スカウティングに親しむ。
17	選 択 課 目	ドリル	GHQ	中央広場	個 人	ドリル、行進の基本等を体験する。
18		スカウト オン ステージ	SHQ	SC広場	班	各SCが提供する「ステージ」で、技能や郷土芸能を披露する。
19		火 起 し	SHQ	SC広場	個 人	火起こしのタイムレースを行う。(閉会時に決勝戦を実施)
20		キャップハンディ	GHQ	中央広場	個 人	障害を持つ仲間立場にたって考え、行動するための体験学習を行う。
21		アーチェリー	GHQ	特設会場	個 人	弓矢による的中車を競う。
22	選 択 課 目	史 跡 探 訪	GHQ	白石市内	個 人	白石市内の史跡めぐりを行う。
23		民芸づくり こけしの絵つけ 和紙細工 竹 細 工	GHQ	中央広場	個 人	白石市蔵王町関係者の協力を得て、伝統工芸にふれる。

参加隊は8月7日午前10時30分会場より、バスにて仙台へ向い、青葉城、仙台七夕祭の見学をし18時55分発の



ブルートレインにて8月8日午前7時10分浜松に着く予定です。



役職、級別	氏 名	所属団	役職、級別	氏 名	所属団	役職、級別	氏 名	所属団
静岡第31隊			静岡第32隊			静岡第33隊		
隊長	近藤孝明	6	隊長	新崎好明	26	隊長	小笠原 勇	4
副 長	中村昌春	15	副 長	鈴木洋三	12	副 長	村松寅次郎	16
副 長	館 正己	11	副 長	中村勝彦	細1	副 長	古山裕市	16
副 長 補	鈴木啓二	21	隊 付	志賀口 弘	7	副 長 補	河原崎 敏	1
〃	野田幸弘	22	〃	斉藤秋二	引2	隊 付	斉藤公 誉	14
上級班長	富田裕史	15	〃	鈴木正雄	引2	〃	間 潤久之	16
風 班	菅原彰彦	15	〃	山下玲司	19	〃	横井孝康	16
〃	原 宗則	6	〃	鈴木詠司	19	上級班長	川上敏之	1
〃	大橋正裕	21	〃	斉藤幸一郎	4	タイガー	中村貴之	可1
〃	二橋史武	24	〃	鈴木琢也	4	〃	小島信彦	18
〃	鈴木唯晃	22	〃	鈴木 享	4	〃	野中誠也	10
〃	田中嘉浩	21	〃	鈴木康明	4	〃	白 柳 讓	10
〃	内山拓与志	11	〃	石田智之	7	〃	船越貴寛	1
〃	和久田芳宏	11	〃	〃	〃	〃	高野庸行	1
すっぱん班	今泉正義	11	〃	〃	〃	〃	石岡 宙	14
〃	小池俊介	21	〃	〃	〃	〃	中島久典	1
〃	松崎哲也	6	〃	〃	〃	はやぶさ	小野田健祐	23
〃	丹治政人	24	〃	〃	〃	〃	伊熊健二	18
〃	安間広智	15	〃	〃	〃	〃	福島浩記	1
〃	藤田和宏	22	〃	〃	〃	〃	鈴木康志	10
〃	菅沼咲人	15	〃	〃	〃	〃	竹内雅規	23
〃	安川公康	24	〃	〃	〃	〃	阪田 敬	1
〃	鈴木 守	15	〃	〃	〃	〃	稲川 晃	14
うなぎ班	鈴木智久	15	〃	〃	〃	〃	岩堀安行	18
〃	小林啓二	11	〃	〃	〃	うなぎ	鈴木俊行	18
〃	中野良治	6	〃	〃	〃	〃	柳堀友亮	14
〃	河相博士	22	〃	〃	〃	〃	河合孝幸	10
〃	小粥唯一郎	24	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	松尾崇充	22	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	鈴木大憲	15	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	植田孝一	11	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	富田貴幸	21	〃	〃	〃	〃	〃	〃
つばめ班	鈴木正京	15	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	金子直樹	21	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	美和 吏	24	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	佐藤公彦	6	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	藤森達也	24	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	増井健吾	22	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	山村隆信	21	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	森田宗典	11	〃	〃	〃	〃	〃	〃
静岡第34隊			静岡第35隊			S S 奉仕隊		
隊長	神谷恭二	引2	隊長	玉木功一	21	石井宏明 17 鈴木弘二 10		
副 長	片山和夫	14	副 長	松田 怡男	21	笠原直樹 12 堀内秀行 16		
副 長 補	北澤和宏	細1	副 長 補	小坂一夫	浜北1	小沢祐市 24 鶴飼一博 11		
隊 付	高部公弘	14	副 長 補	木村憲弘	1	玉木一正 21		
〃	本多秀俊	14	〃	原 一郎	浜名1	SHQ奉仕リーダー		
上級班長	清水靖訓	引2	〃	鈴木 誠	浜名1	三輪悦爾 12 原口芳彦 24		
〃	松田昭孝	細1	〃	増井宣年	浜名1	松田 武昭 細1 小桐竹次郎 細1		
〃	長田哲也	18	〃	菅沼弘人	21	加藤勝信 7 大村直樹 12		
〃	安尾丈孝	細1	〃	長井由久	浜名1	GHQ奉		

暑中お見舞い申し上げます

浜松地区協議会長 柳 本 冬 彦	浜松地区副協議会長 内 田 嘉 一	浜松地区副協議会長 市 川 重 雄
浜松地区委員長 内 田 時 世	浜松地区副委員長 宮 澤 廣 士	浜松地区コミッショナー 玉 木 功 一
浜松第1団 〃〃S〃〃B〃〃〃C 団副団副育 〃副隊〃副隊〃副隊員長委員成 長長長長長長長長長長 木河川河木河清高山平一井柴松吉内 村原上原村原水野本松ノ田下沢田 崎崎崎崎良亮直情口智欣正嘉 元真文成憲和子美子同子薫司道一 昭吾雄敏弘敏和子美子同子薫司道一	可美第1団 〃S〃〃〃B〃〃〃〃〃〃C〃〃副団副育 〃S〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃委員成 長長〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃長長 佐良藤中佐太本内小丸伊井友鈴山中李 藤知村村藤田間山楠山藤口田木中村屋 三元俊しず久俊由一文晴洋道楨 博夫之晴博進ゑ子子治二郎哉雄一男一	浜松第14団 
浜松第21団 団委員・リーダー 一同	浜松第18団 育成会長 生倉義一 団委員長 鈴木賢俊 団委員 一同 RS隊長 伊熊有祐 SS隊長 浜田清一 BS隊長 長田勇三 CS隊長 服部隆彦	浜松第10団  団委員・リーダー 一同
浜松第23団 ＝いつも元気＝	浜松第19団 団委員・リーダー 一同	浜松第6団 ＝夏に鍛えよう＝
浜松地区副コミッショナー 訓練チーム担当 柴 田 薫 浜松地区副コミッショナー CS担当 川 上 文 雄	浜松地区副コミッショナー BS担当 近 藤 孝 明 浜松地区副コミッショナー SS担当 神 谷 恭 二	浜松第26団 暑中お見舞い 申し上げます。 団 委 員 一 同 リ ー ダ ー



* 浜松第6団 * ぼくらのスカウティング

私たち親子とカブスカウト

デンマザー 石津 恵子

早いものです。子供がカブスカウトに入隊して、二年すぎ、三年目に入りました。キャンプでの飯ごう炊さん、佐鳴湖公園までの夜間ハイク、どれをとっても、自分を試すよい経験だったと思います。

今年の三月、私が三日ほど留守にした時のことです。主人と子供達だけで、朝昼晩の食事を作って食べたそうです。今迄やったことのない息子が、あのキャンプで覚えた飯ごう炊さんの時の米の洗ひ方、水量を思い出し、ガス炊飯器で炊いてくれたのです。私は、「よくぞやってくれた」と言った後、ガスの危険なことも忘れ涙が出てしまいました。

今の教育は、知識の詰め込みのような傾向があります。ところが、カブスカウトでは、《りす、うさぎ、しか、くま》と、年齢に合わせ、無理なく身体で覚えさせ実行できるようになっています。また、組長、次長がいて、その下に組員がいます。そんな縦の繋がりから、目上の人をたてることも学ぶことができ、それは、社会に出てから役立つものと思います。また一方、母親の私も、デンマザー研修会に参加し、自分で体験してみてもチームワークや多々の練習の大切さがわかりました。

これからも、入隊してよかったと思うことが何回かあるでしょう。親子共々できるかぎり活動に参加していきたいと思います。

ボーイのサイクリング

ボーイ隊 古田 真也 (付属中1年)

僕は、この前の日曜日にサイクリングに行きました。目的地は、都田町で僕には二度目でした。初めての時は、行きに随分時間がかかったし、小さな事故もありました。チェーンが外れたり、ひどく転んだりして時間がかかり、ゆっくり遊べませんでした。

しかし、今回は何事もなく速く着いたので大分遊べました。それに、前回はとても疲れて、後で三日位筋肉痛になったけど、今回は、そんなことにもなりませんでした。また、前回は、大人が大勢一緒に来たけど、今回は、副長一人だけでした。こう言うことは、カブの時より成長した証拠だと思っています。

スカウトになってから

ボーイ隊 美馬 淳志 (曳馬小6年)

僕は、スカウトになっていろいろな事をしました。例えば、特にキャンプやハイキング等です。

キャンプでは、御飯をたくのがうまくいったり失敗したりしました。夜寝る時、夜は暑くて寝袋のチャックを開けて寝たら、朝は寒くて風邪をひいた隊員が2、3人いました。ハイキングでは、隊長に後100kmと言って皆をだましたりしたので、べちゃくちゃ話している内に着いたりしたことが何回もありました。まだ、ボーイに入ってから主な行事に参加していないけれど、新入隊員の歓迎キャンプには、参加しました。僕は、入隊してから何回かへんなことをされたけれど、班長に、

「くじけるな！」

と、言われてなんにもいじめられていない気分にもどります。僕は、ボーイに入ってよかったなと思います。

ぼくのたい長

カブたい 中野ともひと (北小4年)

ぼくのたい長は、とてもやさしいけれど、集合の合図をかけても、来ない人がいたりすると、おこったりしてとてもこわいです。

いろいろ活動するときは、しっかり教えてくれてよくわかり、とてもよいたい長です。

いっしょに遊んでいるときとか、話しをしているときのたい長は、とてもすてきな顔をしています。

ぼくらのたい長は、おもしろくて、たのしいたい長です。



*浜松第7団*ぼくらのスカウティング

観音山牧場へ行った

カブ隊 秋葉 貴博（初生小5年）

6月28日から29日にかけて、観音山で舎営をしました。着いてすぐ、入舎式をしました。その後アスレチックと、木馬をしてみんなで遊びました。木馬は十歩ぐらいできました。夜は、隊長のたんじょう会をしました。みんなの寄せ書きと花をあげました。それから大きなおふろに入って、ふかふかのふとんに入ってすぐねむりました。

二日目は、雨がふってきたので、楽しみにしていた沢遊びができなくて、とても、ざんねんでした。

そのかわり、ギブス面作りをしました。ようりょうさえわかればかん単でした。

みなさんのご指導で、けがひとつなくてよかったです。みじかい二日間でした。



カブ隊 上口 勝巳（初生小5年）

ぼくは、6月28・29日観音山少年自然の家に泊まりました。ぼくは、少年自然の家の先生が

「いろいろな動物が夜にも見れますよ」

と、言ったので動物達が来ないかなあと思いました。

夕食後、アスレチックや木馬に乗って楽しく遊びました。ゲームの後で隊長のたんじょう会をやりました。隊長に喜んでいただけ、とてもうれしかったです。次の日の朝の掃除でころんで頭にこぶを作ってしまった。ギブス面作りの時、とてもへんな感じがしました。でも、うまくできたのでよかったです。閉所式のとき、とてもきんちょうして、お礼の言葉がうまくいえませんでした。夜、動物は、見れなかったけど、とても楽しかったです。



ボーイ隊になって

ボーイ隊 松元 輝満（初生小6年）

BS隊に上進して2ヵ月半、班集会活動を入れて4回ほどしか参加していませんが、僕には、BSとCSの違いが沢山あるので、ちょっと心配です。

和光寮へ行ったのが、初の隊集会でした。この時は、手旗の0～14まで教えてもらいました。むずかしい数もあったが、練習によって全部覚えました。

6月8日は、楽しみにしていたハイキング！。でもおたふくかぜでダウン。その分皆に遅れてしまい悔しいです。これからは、休まず活動に参加して各種の章をとり「富士章」もとれるように精一杯頑張りたいです。兄二人がBSにいたので大体こんな事をやるのだと言う事はわかるけど、細かい所までは知らないで、班長達の良い所をたくさん見習い、CSの手本となる良い行いをしていきたいです。

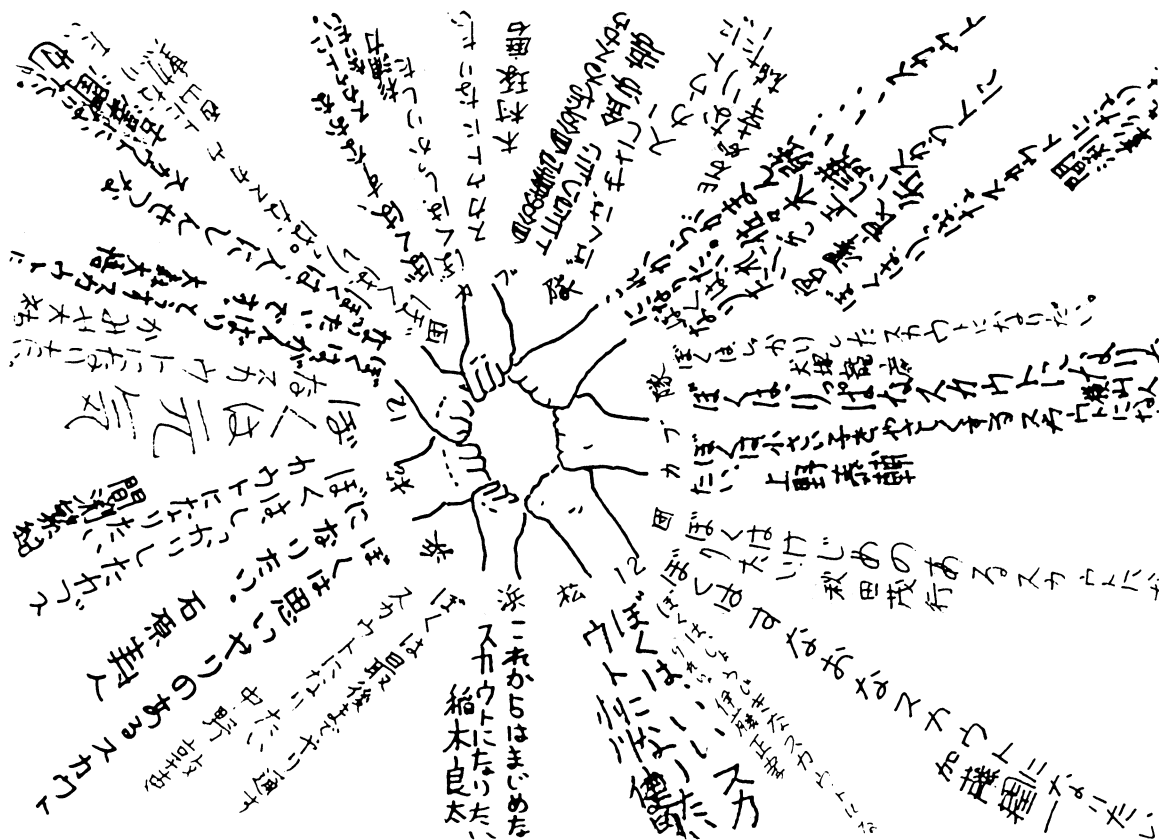
9NJに行くために

ボーイ隊 岩間 学（開成中2年）

僕は、日本ジャンボリーに参加することになった。4年に一度の日本ジャンボリー（9NJ）！この9NJを成功させるために自分自身が努力し、そして皆と協力し合って、何事にも若さと、ファイトで頼張っていきたいです。その為には今迄経験してきた事を全部出しきることが大切だと思います。例えば、ロープワークにしても、まだ、不安がのこっているけど、努力して確実に自分のものにしていきたい。そして、隊長を初め他のリーダーや、班長等に迷惑や心配をかけないように協力していきたいです。

9NJ終了後、反省をしっかりと、自分なりにもっと大きくなっていきたいです。

* 浜松第12団 * ぼくらのスカウティング



ビーバーに入って

ビーバー隊 しばたゆうすけ (城北小)

ぼくは、二年生になってから、ビーバーに入りました。今までに、一番たのしかったことは、中田島で、すなでかめを作ったり、りゅうぐうじょうを作ったことです。こんどは、さわがにとりや、キャンプに行くのがたのしみです。

ビーバー隊 大たかあさひ (城北小)

ぼくは、ビーバーたいに入ってよかったなと思いました。みやざわ先生のお話がおもしろがったからです。ビーバーは、あたまがいろいろ話をしてくれました。ぼくたちも、べんきょうをしてあたまをよくしたいです。そして、大ぜいの人にほめられたいです。くみしゅう会で中田くんのお父さんが、すごくおもしろい紙しばいしてくれました。こんどは、ビーバーの人がよみなさいといったから、ぼくは、びっくりしました。ぼくは、まちがわずによめるかなあと思ったらひかかったりまちがえたりしました。こんどは、しっかりよみたいです。

高校生活とスカウト活動

シニア隊 笠原 直樹

僕は、CS隊から今迄、ずっとスカウト活動を続けられました。今迄やってきてよかったことは、やはり友達がたくさんできたことだと思います。しかし高校生になってしまうと今迄のように行事に出席出来なくなってきました。僕の友人のスカウトも勉強や部活が忙しく、近頃はあまり行事にも出てこなくなりました。勉強と部活とスカウト活動の三つを全部こなすのはむずかしいと思います。でもスカウト活動の中には、学校や部活では得られないもっと大切なものがあると思います。確かに面倒くさい行事もあります。その反面、ヨットの講習会やジャンボリーなど、普通の人では体験出来ないこともあります。それに、学校以外にたくさん友達の作ることも出来ます。同年の友達だけでなく、年上の指導者からよい話を聞かせてもらったり、年下のカブスカウトの世話をしたりと言うような年齢の離れた人達との付き合いが出来るのもスカウト活動のよいところだと思います。僕は、これからもスカウト活動を続けるつもりです。

* 浜松14団 * ぼくらのスカウティング

ウォークラリーに参加して

カブ隊副長 長尾 正

5月18日(日)、私達浜松第14団では、団行事として3ヶ日青年の家を発着点としてウォークラリーを開催しました。

天気は、五月晴れで気持ちのよい日差しの中、爽やかな風が吹き、丘の上から一望する浜名湖では、ヨットやウィンドサーフィンの大会が盛大に行われ、そのまま絵葉書にしたい様な光景でした。

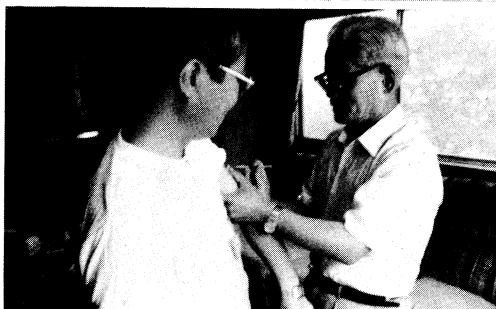
今回の参加者は150名程度で、子供から父母まで万遍なく散るよう18組に分けて出発しました。

コースの所々に設けられたチェックポイントの難問に、子供も大人も知恵を出し合い、力を合わせて真剣に取り組んでいました。

このウォークラリーは、団の団結、親睦に大変役に立ったとおもいます。



班長の初級スカウト指導



団委員も予防注射



ビーバーは川や野山が大好き

年度初めの行事で初対面の人達も力を合わせて一つの行事を成し遂げました。

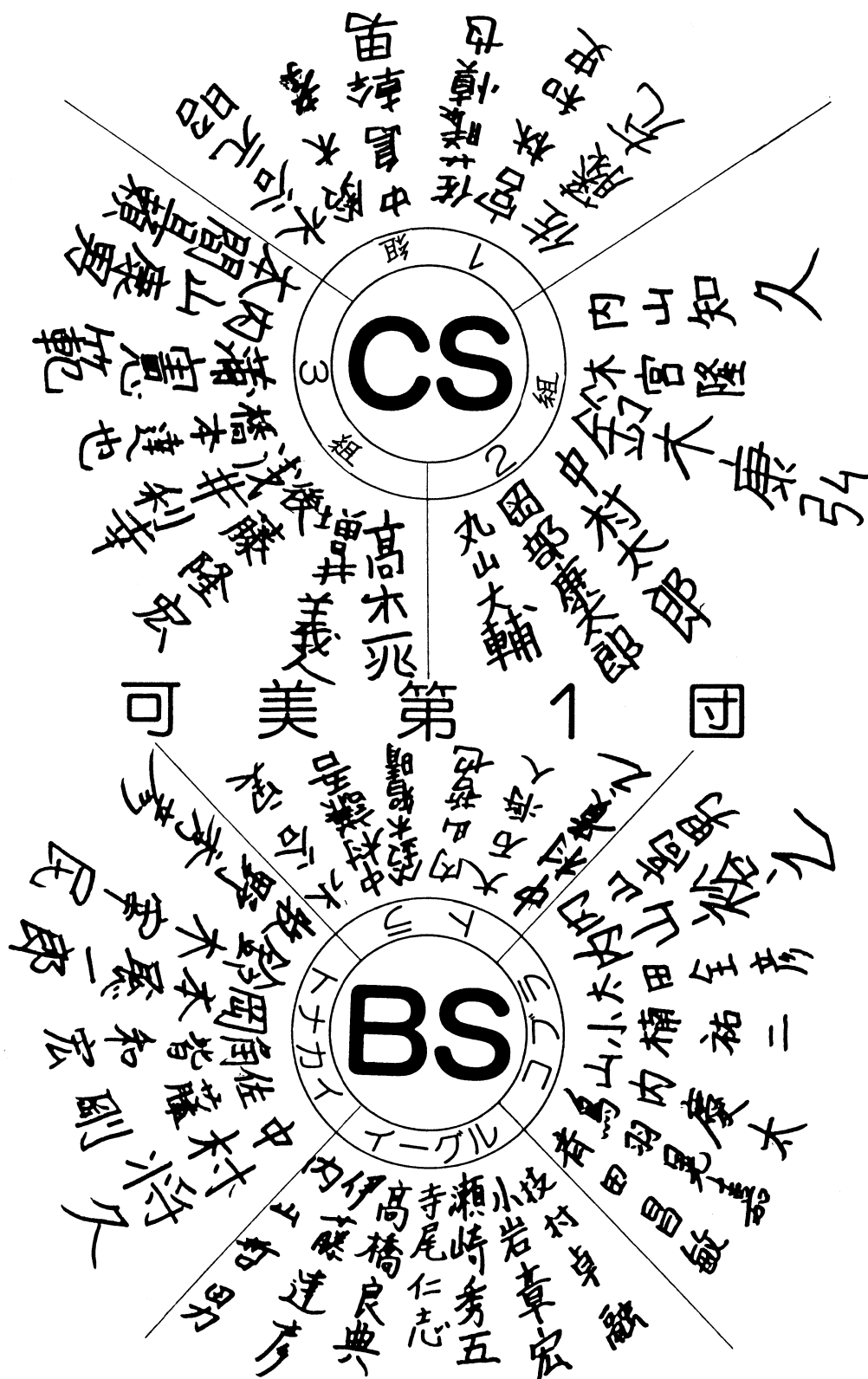
美しい大自然の中を一日歩いたことで心も安らぎ誰もが楽しむ事が出来たことでしょう。

父兄でも、ボーイスカウト活動と言うと野外でのキャンプなど何かと難しい事ばかりだと思われがちですが、この様な行事には誰でも参加出来るとおもいます。頑張りましょう。

こうした大自然を創造して下さった神様に心より感謝する事も忘れずに、これからもスカウト活動が続けていきたいと思います。



***可美第1団*ぼくらのスカウティング**



SENIOR DOOR



第14回オーストラリア ジャンボリーに参加して

浜松第11団 丹羽 勝也

二泊三日の事前訓練の後、バスで成田空港へ直行、オーストラリアが身近に感じられてきた。

点呼を終え、各人搭乗、やっと行けるという安心感、胸一杯の期待感そして、大丈夫だろうかという不安感を乗せて夜の成田をQF-022は飛び立った。シドニー空港に着くとバスで一路ホームステイ先の人達の待つ集合場へ、そして、そこから各々の家庭へと案内された。三泊四日のホームステイは、行く前の不安を全く否定するものであった。クリスマスの晩に招待されたり、各方面へドライブに連れていってくれたりで楽しさを満喫できた。だが、そんなことよりも家族の一員となって生活出来たことが、とても嬉しかった。楽しかったホームステイの後、我々派遣団は、二泊ほど首都キャンベラや商都市メルボルンを見学した後、メインであるシドニー郊外のカトラクト・スカウトパークの一面にサイトを設営した。この設営には、現地のスカウトも手伝ってくれ大変助かった。ここでのキャンプでは、とにかく我々が外人だったので交流を深め合うためにいろいろなことをした。食事交換等も楽しかった。心配していた英語も何とか身振り手振りでこちらの感情を一部位は伝えることが出来たのではないかと思われた。其の他、アリーナの活動や、泥の中にもぐるチャレンジパレー等のアクティビティーに参加し、現地のスカウトと共に喜びを分かち合うことが出来た。このような経験はしたことがなかったし、今後もそうめったにないだろう。この素晴らしい思い出を、思い出としないで生活の中で、また、将来に役立たせていきたいと思う。



第14回オーストラリアジャンボリー—(I)

浜松第11団 鵜飼 一博

12月24日から1月11日迄の19日間、オーストラリアジャンボリー派遣に参加した。12月22日の午後5時から派遣隊全員で、準備訓練を行った。ブルートレインで九州から来る者等、それぞれ遠い場所から東京三鷹にあるボーイスカウト会館に集まった。いろいろな地

方から集まるだけあって方言が出たりで面白い。その日の内に24人が和気あいあいとなった。

携行品のチェックや、規律訓練、渡航手続き等をすませ、出発日24日の朝になった。みんな興奮のあまり、昨日の夜は眠れなかったようで、眠たそうな目をしていて。特に富士山があざやかに見えたのを、今でもはっきり覚えている。

結団式の時、紺色の日本派遣団のネッカチーフを頂き、派遣団の一員という自覚を改めて持ち、興奮が絶頂に達した。

19時30分、成田空港のあこがれの北ウィングにて出国手続きを済ませ、22時30分発のQF-022便の搭乗を待つばかりとなった。その間、ジュースを飲んで気を落ち着けたり、家に電話をかけたりして過ごした。

飛行機の中では、映画「ゴーストバスターズ」を見たりした。いつの間にか眠ってしまったらしく、朝だと思って起きたら、窓の下に（緑）と、茶（砂漠というか、禿山というか）のじゅうたんのようなのが見えて、とても感動した。ところどころに赤色のレンガの家が見えた。



朝9:00入国手続きを済ませ、空港を出ると、太陽の日ざしがとても強く、周りはみんな外国人で、なにやら違う世界に来てしまったように思えた。

バスでシドニーを通りながら郊外にあるホームステイの家庭に向かった。そこでは五人兄弟の七人家族だった。会った時から英語しかしゃべれず不自由さには困った。唯一日本語が話せるのは同行の先輩だけであった。

ホームステイ中は、クリスマスということで、パーティに連れていってもらったり、コアラやカンガルーのいる動物園、シドニーの観光などをした。パーティでは、約四家族ぐらいが集まりわからないものをすすめられるままに食べてきたのをとてもよく覚えている。動物園で、コアラは抱けなかったけどカンガルーには触ったり餌をやったりしてきた。シドニー観光では、シドニー港（世界で三指に入る美港）をフェリーで見たり、シドニータワーから、シドニー全体を眺望したりした。約三日間ではあったがとても楽しく過ごした。

（以下次号）

学校別スカウト在籍調査表(昭和61年7月16日現在)

スカウト別ビーバーカブスカウト(BS)

No. 校 名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1 付 属 小	2	3	2	3	0	3
2 竜 洋 西 小	0	0	0	0	1	0
3 可 美 小	0	0	7	2	4	4
4 聖 田 南 小	0	0	0	0	0	1
5 鷺 津 小	0	0	2	1	0	0
6 気 賀 小	0	0	3	5	6	3
7 西 気 賀 小	0	0	2	2	2	3
8 伊 目 小	0	0	0	0	0	1
9 中 川 小	0	0	2	0	2	0
10 井伊谷小	7	3	1	1	2	0
11 金 指 小	3	6	4	3	6	2
12 奥 山 小	0	0	1	0	0	0
13 元 城 小	2	1	1	2	1	2
14 南 小	0	0	0	0	2	0
15 西 小	3	3	3	3	1	3
16 東 小	0	0	2	0	1	1
17 県 居 小	0	0	2	7	8	1
18 相 生 小	0	0	3	2	5	3
19 北 小	0	5	2	2	0	1
20 龍 禪 寺 小	0	1	1	3	1	2
21 追 分 小	0	0	0	0	1	1
21 佐 藤 小	0	0	0	1	0	0
23 高 砂 小	0	0	0	1	0	0
24 広 沢 小	1	1	4	5	6	11
25 曳 馬 小	3	4	3	3	7	3
26 萩 丘 小	1	0	1	1	3	4
27 富 塚 小	0	0	3	3	1	5
28 白 脇 小	0	0	3	0	0	6
29 蒲 小	0	0	4	1	1	3
30 浅 間 小	0	0	3	6	10	14
31 上 島 小	4	4	3	4	0	4
32 鴨 江 小	0	1	0	0	2	0
33 新 津 小	0	0	5	4	1	3
34 河 輪 小	0	0	0	2	1	0
35 船 越 小	1	1	0	0	0	0
36 城 北 小	1	2	1	2	2	2
37 和 田 小	0	0	0	1	0	1
38 与 進 小	1	3	1	2	7	5
39 豊 西 小	0	0	0	0	1	0
40 芳 川 小	0	1	2	2	2	2
41 飯 田 小	0	0	2	3	4	1
42 吉 野 小	0	0	0	0	0	1
43 三方原小	0	0	0	1	1	0
44 豊 岡 小	0	1	0	0	2	0
45 神 久 呂 小	1	0	3	1	4	2
46 入 野 小	1	0	0	0	0	0
47 積 志 小	0	1	1	2	3	1
48 伊 佐 見 小	2	0	6	3	5	3
49 和 地 小	2	1	5	0	3	5
50 篠 原 小	1	0	11	9	12	9
51 葵ヶ丘小	0	0	1	0	0	4
52 北 庄 内 小	0	0	0	0	0	9
53 南 庄 内 小	0	0	0	0	0	2
54 泉 小	2	2	3	0	4	2
55 大 瀬 小	0	0	2	0	0	0

No. 校 名 1年2年3年4年5年6年

56 遠 州 浜 小	0	0	4	1	1	2
57 砂 丘 小	0	0	1	1	3	2
58 中 郡 小	1	4	0	1	0	2
59 与 進 北 小	0	0	3	1	0	1
60 佐 鳴 台 小	0	0	1	1	4	2
61 端 穂 小	0	0	1	4	1	1
62 富 卒 西 小	0	0	1	0	1	1
63 芳 川 北 小	0	1	0	1	0	0
64 有 玉 小	1	1	3	2	3	3
65 初 生 小	0	0	3	6	3	4
66 西 都 台 小	0	0	9	4	7	4
67 和 田 東 小	0	0	1	0	1	0
68 葵 西 小	0	1	0	0	0	1
合 計	40	51	132	115	149	156
小学校総計	643名					

ボーイスカウト(BS)

No. 校 名	1年	2年	3年
1 浜松付属中	2	2	1
2 豊 田 中	0	0	2
3 神 明 中	0	1	0
4 可 美 中	7	1	1
5 細 江 中	11	7	7
6 引佐南部中	4	3	3
7 浜松東部中	8	4	5
8 " 西部中	16	2	3
9 " 南部中	2	2	0
10 " 北部中	3	9	4
11 " 中部中	5	6	4
12 " 八幡中	2	2	2
13 " 曳馬中	7	6	1
14 " 新津中	3	3	9
15 " 江西中	9	8	11
16 " 蛭 中	3	2	5
17 " 天竜中	3	1	0
18 " 与進中	2	7	7
19 " 笠井中	0	1	1
20 " 南陽中	1	3	1
21 " 北星中	4	2	2
22 " 神久呂中	2	5	1
23 " 入野中	6	6	4
24 " 積志中	5	3	3
25 " 湖東中	7	2	4
26 " 篠原中	11	13	5
27 " 丸塚中	1	4	5
28 " 高台中	6	2	4
29 " 庄内中	0	0	1
30 " 江南中	1	2	0
31 " 開成中	3	4	0
32 " 中郡中	0	1	1
33 " 三方原中	2	3	2
34 " 東陽中	1	0	2
35 " 佐鳴台中	1	1	0
36 日生学園中	0	1	1
合 計	138	119	102
中学生総計	359名		

シニアスカウト(SS)

No. 校 名	1年	2年	3年
1 沼津工業専門学校	2	0	0
2 掛 川 工 業 高 校	1	0	0
3 磐 田 南 高 校	1	0	1
4 磐 田 農 業 高 校	1	0	1
5 浜 松 北 高 校	2	5	4
6 浜 松 西 高 校	9	2	2
7 浜 松 南 高 校	3	5	2
8 浜 松 湖 東 高 校	4	7	8
9 浜 松 湖 南 高 校	6	2	3
10 浜 松 江 之 島 高 校	5	2	1
11 浜 松 東 高 校	2	1	0
12 浜 松 農 経 高 校	0	1	0
13 浜 松 工 業 高 校	5	2	0
14 浜 松 城 北 工 業 高 校	5	4	4
15 浜 松 商 業 高 校	1	2	3
16 浜 名 高 校	0	6	0
17 浜 北 西 高 校	0	1	0
18 引 佐 高 校	2	2	0
19 気 賀 高 校	4	1	2
20 国 際 海 洋 高 校	0	1	0
21 興 誠 高 校	7	1	1
22 浜 松 日 体 高 校	2	1	1
23 聖 隷 学 園 高 校	0	2	1
24 オ イ ス カ 高 校	2	2	0
25 島 田 学 園 高 校	1	1	0
26 日 生 学 園 高 校	0	2	0
27 常 葉 学 園 高 校	0	0	1
28 経 理 専 修 学 校	0	1	0
29 平 岡 ボ デ ィ ャ ク (株)	1	0	0
合 計	66	54	35
総 計	155名		

小学生 643名
中学生 359名 合計1,157名
高校生 155名

浜松地区・進歩かべかけ表

浜松地区進歩委員長 山中 洋一

浜松地区進歩かべかけ表も57年度から「スカウト浜松」へ掲載をはじめて、5年目に入りました。この間各団の進歩委員及びリーダーの皆様の御協力に深く感謝致します。

昭和61年度6月30日現在の調査結果が集計出来ましたので報告します。昭和60年6月30日現在と比較対照出来るように、下欄に付け加えました。前年との比較

をしますと、CSは54名12%の減少、BS増減なしの同数、SSは18名の増で合計36名減の1,269名です。

又今年度から発隊したビーバースカウトは、1年生26名、2年生29名、合計55名の報告がありました。

尚、9月30日現在の進歩状況の調査を計画しておりますので、各団の一層の御協力をお願いします。

昭和61年度 浜松スカウト進歩・進級一覧表

浜松地区進歩委員会

昭和61年6月30日現在

区分 団号	C								S								B										S										総合 合計
	小2年		小3年		小4年		小5年		合計	小6年		中1年		中2年		中3年				合計	中3年		高1年		高2年		高3年				合計						
	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ		見	初	初	2	1	初	2	1	菊	初		2	1	菊	GS	GS	SS	集	SS	集	GS		SS	集	高 土			
浜松 1		6			8			9	23		4		17			2	5			2	5		35			3			3				6	64			
4		5	1		7	3		13	2	31		16	7			2	3			3	3	1	35		4			3			1		8	74			
6		3			4			7		14		2	3			5				5	2	1	18			3		2			3		8	40			
7		6			8			8		22		14	10			13				6		43		8			6			1			15	80			
10		1	10		1	8		5	6	31		9		10			13			6		38		2			4			2	2		10	79			
11		3			9			3		15		9	8			2	6			4	2	31		8			5			2	2		17	63			
12		8			5			9		22	7		4	1		1	8			6			27				3			2			11	60			
14		7			7		2	8		25		10		5			5			3		23			6					3			3	51			
15		12			4			6		22		10	10			6				6		32		6				5		2			13	67			
16		8			6			6		23		9	3			4					3	19		4			5			1			10	52			
18		2			6			9		17		14	9			8				7	2	2	42		4			5			7			16	75		
19			16			5			9	30		11	7	4		7				1	3	4	37			4		4			4			12	79		
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3		1				5				3		12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12		
21		9			10			10		29		6	7	2		11				5	4	35			7		8			3			18	82			
22		8			4			8		20		7	6			7					10	30			3		1			2			6	56			
23		11			5			13	1	29		4	7			6						17			6		2			5				13	59		
24		5			9			6		21	8			5		7				5	8	33			4		11							15	69		
25		5			2			4		11	1	10										11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22		
26		6			3			5		14		4	6			5	3		1	1		20					1						1	35			
引佐 2		6		4			3	6		19	3	8				4				2	2	19		2									2	40			
細江 1		3			6			8		17		7	7			7				7		28		6			3			3	2			14	59		
可美 1		10			5			5		20		7	10			2	1			2	4	26			5								5	51			
合計①	—	124	27	8	109	16	5	148	18	455	22	161	105	44	—	10	117	21	—	7	38	67	19	611	—	44	41	—	63	8	—	41	6	—	203	1,269	
構成比②	—	27.3	5.9	1.7	24.0	3.5	1.1	32.5	4.0	35.9	3.6	26.4	17.2	7.2	—	1.5	19.1	3.4	—	1.2	6.2	11.0	3.1	48.1	—	21.7	20.2	—	31.0	3.9	—	20.2	3.0	—	16.0	100	
60年 ①	—	106	16	6	138	29	3	172	39	509	16	148	124	44	1	44	114	16	—	9	40	42	13	611	—	56	23	—	58	—	—	35	13	—	185	1,305	
6/30 ②	—	21	3	1.2	27.1	5.7	0.6	33.8	7.6	39	2.6	24.2	20.3	7.2	0.2	7.2	18.7	2.6	—	1.5	6.5	6.9	2.1	46.8	—	30.3	12.4	—	31.4	—	—	18.9	7	—	14.2	100	

—は各隊の比率を示す

地区のうごき

- 4月1日(火) コミ会議(法林寺)
 3日(木) 班長訓練野営反省会(法林寺)
 4日(金) 東小地区委員会(松江会館)
 5日(土) 団委員長懇談会(4団団ルーム)
 9日(木) 小地区リーダー会
 11日(金) 太田山野営場管理運営委員会(曳馬公民館)
 15日(火) 浜松まつり駐車場奉仕説明会(法林寺)
 16日(水) 楽器研修会(法林寺)
 17日(木) 地区総会(法林寺)
 19日(土)~20日(日) 県連野営法研修会(太田山野営場)
 20日(日) 南小地区D.M研修会
 (可美公園総合センター)
 " 西 " " (細江公園)
 23日(水) 地区委員会(法林寺)
 24日(木) 南小地区委員会
 27日(日) 東小地区D.M研修会(曳馬公民館)
 29日(火) 西小地区D.C研修会(青少年の家)
 29日(火)~5月5日(月) WB実修所SS第14期
 (太田山野営場)
 5月3日(土)~5日(月) 浜松まつり駐車場奉仕
 (中田島海浜公園)
 6日(火) コミ会議(法林寺)
 7日(水) 西小地区委員会
 9日(金) 東小地区委員会(松江会館)
 13日(火) 地区大会委員会(法林寺)
 14日(水) 訓練チーム会議(法林寺)
 " CSリーダー会(南部公民館)
 16日(金) 浜松まつり駐車場奉仕反省会(法林寺)
 16日(金) BSリーダー会(法林寺)
 18日(日) 東小地区D.C研修会(天竜公民館)
 " 南 " " (南部公民館)
 19日(月) 地区委員会(法林寺)
 20日(火) 地区面接・進歩委員会(法林寺)
 21日(水) 楽器研修会(法林寺)
 22日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
 23日(金) ヨット委員会(法林寺)
 25日(日) 団委員研修会(曳馬公民館)
 26日(月) 組織拡張委員会正副委員長会議(法林寺)
 28日(水)~29日(木) 浜松市野外活動(キャンプ)講習
 会(教員対象)奉仕
 (浜松市かわな野外活動センター)
 28日(木) 組織拡張委員会(法林寺)
 29日(木) 南小地区委員会
 30日(金) 事務連絡責任者会議(法林寺)

- 6月1日(日) BSリーダー特別研修会(史跡めぐり)
 3日(火) コミ会議(法林寺)
 6日(金) 東小地区委員会(松江会館)
 7日(土)~8日(日) 地区野営法研修会(太田山野営場)
 11日(水) ビーバー・CSリーダー会(南部公民館)
 13日(金) 地区大会委員長(法林寺)
 15日(日) ヨット講習会(I)(スンザマリーナ)
 18日(水) 楽器研修会(法林寺)
 " 西小地区委員会
 19日(木) 地区委員会(法林寺)
 20日(金) BSリーダー会(法林寺)
 21日(土)~22日(日) 東小地区救急法講習会(曳馬公民館)
 CSリーダー特別研修会(青少年の家)
 26日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
 " 南小地区委員会
 29日(日) 172期指導者講習会(南部公民館)
 7月1日(火) コミ会議(法林寺)
 4日(金) 東小地区委員会(松江会館)
 9日(水) 小地区リーダー会
 13日(日) ヨット講習会(II)(スンザマリーナ)
 16日(水) 楽器研修会(法林寺)
 17日(木) 地区委員会(法林寺)
 18日(金) 地区大会委員会(法林寺)

これからの予定

- 7月23日(水) 西小地区委員会
 24日(木) 南小地区委員会
 31日(水)~8月8日(金) 第9回日本ジャンボリー
 8日(金) 東小地区委員会(松江会館)
 8月10日(日) ヨット講習会(III)(スンザマリーナ)
 11日(月) 地区名誉会議(法林寺)
 12日(火) コミ会議(法林寺)
 15日(金) BSリーダー会(法林寺)
 19日(火) 地区面接・進歩委員会(法林寺)
 20日(水) 財政委員会(法林寺)
 " 楽器研修会(法林寺)
 20日(水) ビーバー、CSリーダー会(南部公民館)
 21日(木) 地区委員会(法林寺)
 23日(土)~24日(日) ヨット講習会(IV)(スンザマリーナ)
 26日(火) 地区大会委員会(法林寺)
 28日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)
 " 南小地区委員会
 31日(日) ヨット講習会補講(スンザマリーナ)

発行所

第104号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所
 〒430 浜松市海老塚2-9-16

編集発行責任者 石 津 宏

印刷所 株三富印刷

昭和61年7月25日発行